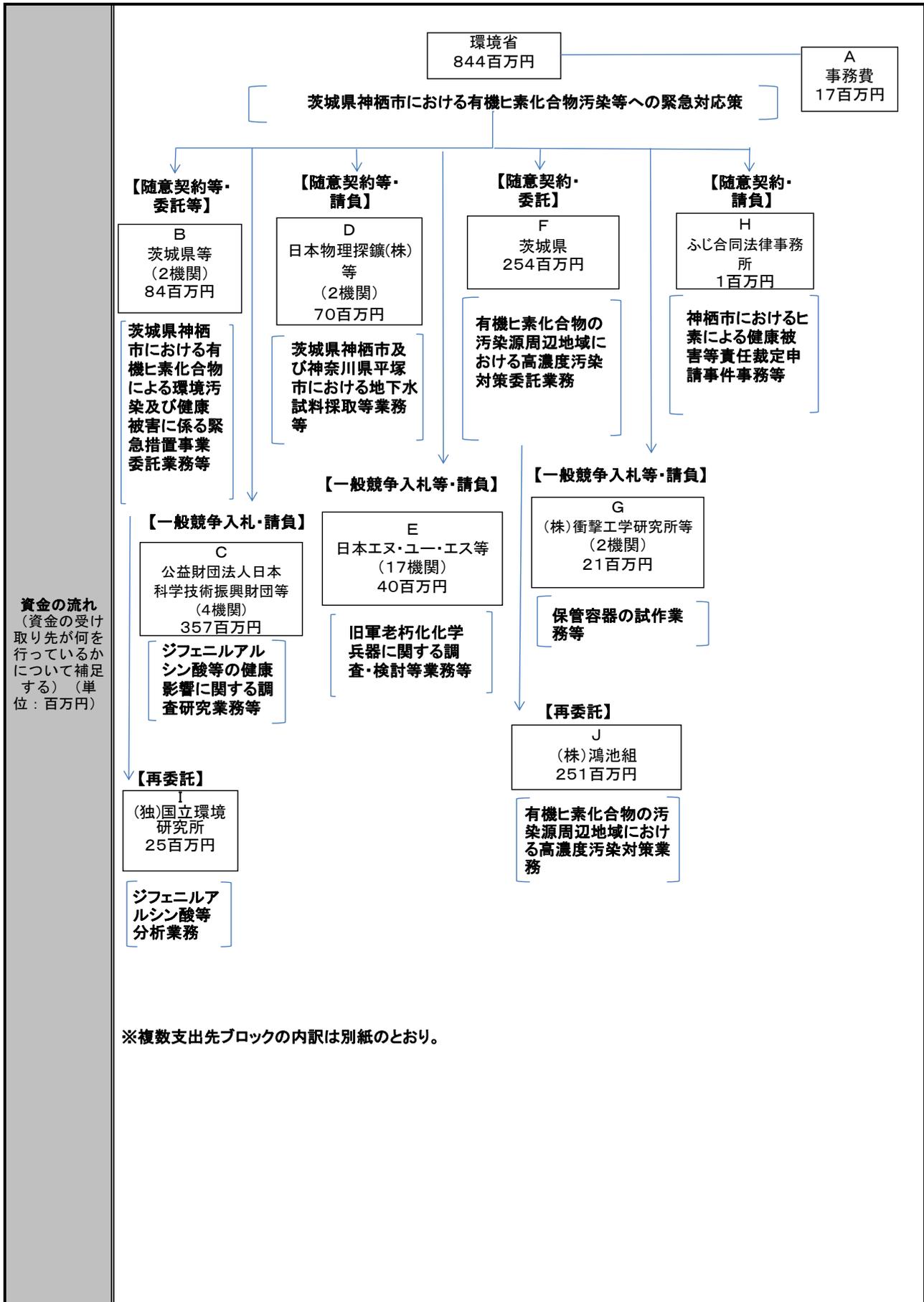


平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	茨城県神栖市における有機ヒ素化合物汚染等への緊急対応策		担当部局	環境保健部		作成責任者	戸田 英作	
事業開始・終了(予定)年度	平成15年～		担当課室	環境リスク評価室				
会計区分	一般会計		施策名	6-5 国内における毒ガス弾等対策				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	「茨城県神栖市における有機ヒ素化合物汚染等への緊急対応策について」(平成15年6月6日閣議了解) 「国内における毒ガス弾等に関する今後の対応方針について」(平成15年12月16日閣議決定)		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	茨城県神栖市において、旧軍の化学兵器に使用された物質の原料であるジフェニールアルシン酸(以下、DPAAという。)による環境汚染に起因すると考えられる健康被害が生じており、閣議了解に基づき、対象者に健康診査等を実施し、その健康不安を解消する。 また、閣議決定に基づき環境調査等を実施し、旧軍毒ガス弾等による被害の未然防止を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記の目的を達成するため、主に6つの事業及び研究調査を行っている。 ①対象者に健康診査、医療費等の支給及び健康管理調査等を実施する緊急措置事業 ②DPAAの健康影響に関する調査研究 ③神栖市の地下水汚染状況の定期的な地下水モニタリング ④旧軍毒ガス弾等による被害の未然防止を図るため、情報の確実性の高い事案(A事案)地域で実施する環境調査等 ⑤有機ヒ素化合物の汚染源周辺地域における高濃度汚染対策 ⑥毒ガス情報センターによる情報収集と精査及び広報活動							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	△ 29	△ 152	181	0		
		計	859	745	1,092	653	887	
	執行額	652	510	844				
	執行率 (%)	76 (%)	68 (%)	77 (%)				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	有機ヒ素累積除去量kg(茨城県神栖市における地下水の高濃度汚染対策事業)	成果実績	kg	約99	約142	約156	-	
		達成度	%	62	89	97		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	A事案区域の環境調査件数	活動実績	件	6	8	5	-	
		医療手帳交付件数(茨城県神栖市における緊急措置事業)	人	153	153	150	(150)	
単位当たりコスト	①有機ヒ素除去(1,516,500円/kg) ②A事案区域の環境調査件数(2,139,375円/件) ③医療手帳交付件数(521,019円/件)		算出根拠	①単位当たりコスト=実績値/神栖市高濃度汚染対策委託事業執行額 ②単位当たりコスト=実績件数/環境調査のための予算執行額 ③単位当たりコスト=交付件数/緊急措置事業委託事業執行額				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1	2	検討会開催回数の見直しによる増額				
	職員旅費	2	3	施設現地調査回数の見直しによる増額				
	老朽化化学兵器廃棄物処理業務旅費	1	1					
	委員等旅費	1	1					
	環境保全調査費	361	364	人件費の見直し及び備品費の要求による増額				
	老朽化化学兵器廃棄物処理業務庁費	31	418	新規施設の設置・管理・運営に係る費用の要求による増額				
	環境保全調査等地方公共団体委託費	256	98					
計	653	887						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	DPAAについては知見が乏しく、健康影響による住民の不安も大きいことから、国が集中的に知見の収集や調査研究を実施する必要がある。 不用率が高いのは、入札残及び事業実施に伴い、当初計画を下回る事業個所が生じたことによる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業は、請負契約(民間等)及び委託契約(茨城県)に基づき、大部分の業務を実施している。各種調査の実施については、環境省職員が請負先とともに調査方法を協議しつつ進めており、請負先や委託先の検討会においても、環境省職員が出席し、調査や分析等が適正に履行されたことを確認している。また、神栖市の地下水定期モニタリングや高濃度汚染対策についても、現地に環境省職員を派遣し、分析や汚染地下水の処理現場に立ち会い、業務が適正に履行されたことを確認している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	DPAAのリスク評価について、平成20年に中間報告書、平成23年に第2次報告書を取りまとめるなど、本事業を通じて知見が蓄積されつつある。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>DPAAの健康影響調査研究は、前例に乏しく、健康に対する影響が十分解明されているとは言えず、また治療法等が確立しているとも言えないため、引き続き研究を推進する必要がある。また、高濃度の有機ヒ素化合物による汚染が確認されている地域では、汚染地下水処理を行い有機ヒ素化合物を確実に回収したが、DPAA等の検出状況の推移を踏まえつつ、引き続き地下水の定期的なモニタリングを行い、DPAAに汚染された地下水の飲用による被害を未然に防止する必要がある。事業開始以降、本事業に係る予算額は平成19年度以降ほぼ同額であるものの、日本各地で旧軍毒ガス弾等が発見されており、効率的な執行を進めている。</p> <p>また、緊急措置事業については、平成23年6月、「DPAAに係る健康影響等についての臨床検討会」において見直しを行い、平成23年7月以降も継続することとしたが、平成26年6月を目途として再度見直しを行う。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	人件費や雑役務費等を見直すことにより、概算要求額を縮減。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	212	平成23年行政事業レビュー	212



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)グレイス			E.日本エヌ・ユー・エス		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	国内における旧軍毒ガス弾等に係る派遣業務	7	人件費	旧軍老朽化化学兵器に関する調査・検討等業務	11
			一般管理費		2
			その他	諸謝金、消費税、旅費、借料及び損料、会議費、印刷製本費	2
			受注者負担分		▲1
計		7	計		14
B.茨城県			F.茨城県		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託料	分析((独)国立環境研究所)	38	委託費	高濃度汚染対策((株)鴻池組)	251
扶助費	健康管理調査協力金等	34	消耗品等	分析試薬器具等、事務用品	3
賃金	医療事務嘱託職員、賃金職員	3			
使用料	タクシー、レンタカー借上	2			
報酬費	医療事務嘱託職員	2			
計		79	計		254
C.公益財団法人日本科学技術振興財団			G.(株)衝撃工学研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究業務	155	雑役務費	保管容器の試作業務	19
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。			本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	
計		155	計		19
D.日本物理探鑛(株)			H.ふじ合同法律事務所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	茨城県神栖市及び神奈川県平塚市における地下水試料採取等業務	53	雑役務費	神栖市におけるヒ素による健康被害等責任裁定申請事件事務費	1
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。			本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	
計		53	計		1

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

I.(独)国立環境研究所			M.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外注費	ジフェニルアルシン酸分析業務	25			
計		25	計		0
J.(株)鴻池組			N.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外注費	有機ヒ素化合物の汚染源周辺地域における高濃度汚染対策業務	251			
計		251	計		0
K.			O.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
L.			P.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)グレイス	国内における旧軍毒ガス弾等に係る派遣業務①	7	随意契約	-
2	(株)ケー・デー・シー	国内における旧軍毒ガス弾等に係る派遣業務②	6	随意契約	-
3	個人Aほか98件	国内における旧軍毒ガス弾等案件及びジフェニルアルシン酸に係る健康影響等案件に係る職員旅費	1	-	-
4	個人Aほか75件	国内における旧軍毒ガス弾等案件に係る老朽化化学兵器廃棄処理業務旅費	1	-	-
5	個人Aほか42件	国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会及びジフェニルアルシン酸に係る健康影響等についての臨床検討会に係る諸謝金	1	-	-
6	個人Aほか45件	国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会及びジフェニルアルシン酸に係る健康影響等についての臨床検討会に係る委員等旅費	1	-	-
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	茨城県	茨城県神栖市における有機ヒ素化合物による環境汚染及び健康被害に係る緊急措置事業委託業務	81	随意契約	-
2	(独)国立環境研究所	緊急措置事業関連生体試料及び土壌試料等に係るジフェニルアルシン酸等分析業務	3	随意契約	-
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人日本科学技術振興財団	ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究業務(平成22年度契約の繰越)	155	随意契約	-
2	公益財団法人日本科学技術振興財団	ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究業務	154	随意契約	-
3	積水メディカル(株)	ジフェニルアルシン酸のラットを用いた薬物動態試験等業務	19	1	95
4	三菱化学メディエンス(株)	ジフェニルアルシン酸のラットを用いた薬物動態試験等業務(平成22年度契約の繰越)	12	1	97
5	日本エヌ・ユー・エス(株)	ジフェニルアルシン酸に係るリスク評価検討調査	11	1	98
6	日本エヌ・ユー・エス(株)	ジフェニルアルシン酸等に係るリスク評価検討調査(平成22年度契約の繰越)	6	2	78
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本物理探査(株)	茨城県神栖市及び神奈川県平塚市における地下水試料採取等業務	61	1	97
2	(財)岐阜県公衆衛生検査センター	地下水定期モニタリングに係るジフェニルアルシン酸等分析業務	9	3	97
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	旧軍老朽化化学兵器に関する調査・検討等業務	14	1	93
2	一般財団法人化学物質 評価研究機構	有機ヒ素化合物に係る分析方法等調査検討業務(平成22年度契約 の繰越)	8	1	95
3	日本物理探査(株)	神奈川県寒川町における物理探査等調査業務	1	2	28
4	日本エヌ・ユー・エス(株)	千葉市における敷地測量及び地盤調査業務	1	随意契約	-
4	日鉄鉱業(株)	千葉市における土地改変に係る安全確認調査等業務	1	随意契約	-
6	日鉄鉱業(株)	四街道市における土地改変に係る安全確認調査等業務	1	随意契約	-
7	(株)未来ガードシステム	福岡県福岡市内で発見された旧軍砲弾の可能性のある砲弾につい ての警備業務	0.6	随意契約	-
8	日本物理探査(株)	旧軍砲弾の密封梱包措置等支援業務	0.6	随意契約	-
9	日本工業検査(株)	旧軍砲弾に関するX線撮影業務	0.4	随意契約	-
10	大和探査技術(株)	千葉市における物理探査等調査業務	0.4	2	22

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	茨城県	有機ヒ素化合物の污染源周辺地域における高濃度汚染対策委託業 務	254	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)衝撃工学研究所	保管容器の試作業務	19	1	87
2	日本エヌ・ユー・エス(株)	金属製保管容器の製造業務	2	随意契約	-
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ふじ合同法律事務所	神栖市におけるヒ素による健康被害等責任裁定申請事件事務費	1	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	ジフェニルアルシン酸等分析業務	25	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

J.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	(株)鴻池組	有機ヒ素化合物の汚染源周辺地域における高濃度汚染対策業務	251	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					